

Presented by  
**MARUI**  
CHINPUD<sup>o</sup> 202

成年  
同人誌

# 盾 の 従 者 で 執 て 治 し

The Rising of  
the Shield Her  
ONLY FANBOOK

# 盾 の 従 者 を 執 て 治 し





こんにちは。サークル<sup>せんさつどう</sup>珍譜堂の<sup>まひ</sup>◎です。

本書はアニメ版の「盾の勇者の成り上がり」をベースにしてアニメ4話での尚文VS元康の決闘に敗れた尚文がラフタリアの言葉を聞く事なく逃亡する…というifな話です。

それと、アニメ版以外にも小説版の小ネタを最期にちょっとだけ入れてます。あらかじめご了承ください。

ラフタリアを懸けた元康との決闘の後、尚文は全てに絶望しラフタリアが差し伸べた手も振り払い逃げ出した

ナオフミ様！

くるなっ！！

俺に触るなっ

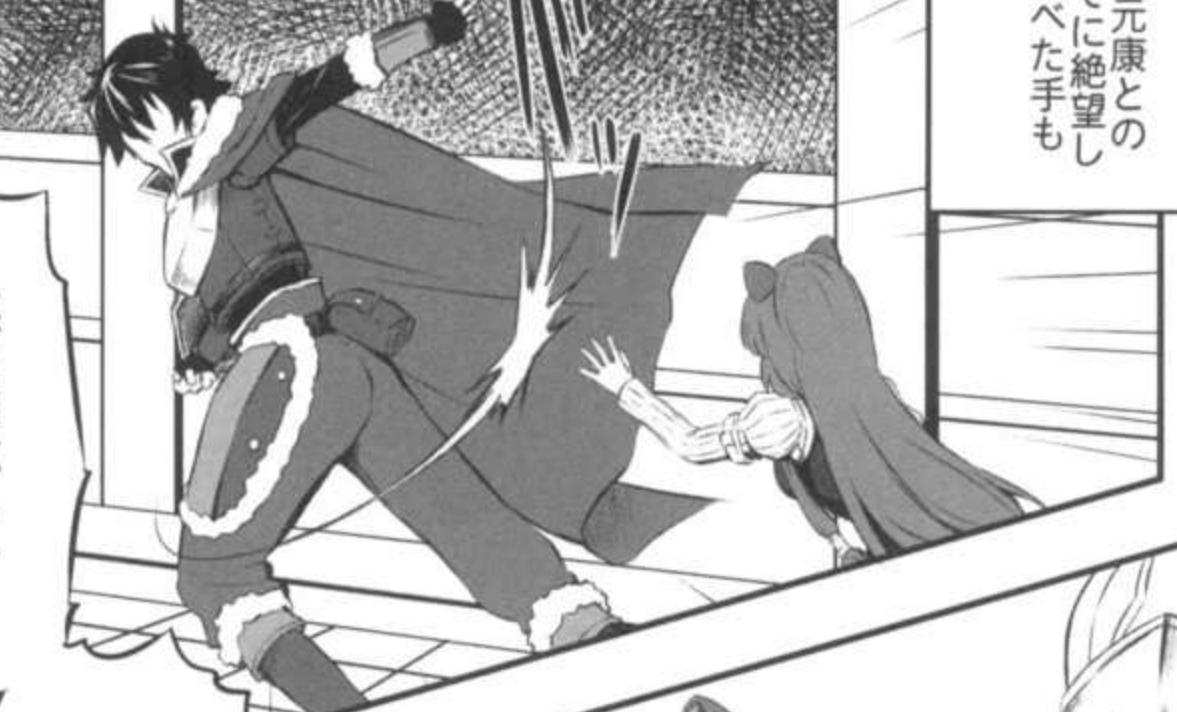
あつはつはつは見なさい！罪人の勇者が逃げて行くわよ！

悪に相応しいブザマな姿ね！

その亜人は捕らえておきなさい！まだ盾の洗脳が解けてないようだわ

はっ！

くっ！  
離して！！



さて、つはつはつもまたらだに店に売り飛ばしてやるか

死ぬまでクソ豚どもに辱められるといいわ

おとなしくしろ！！

ナオフミ様  
ナオフミ様あつ！！

ラフタリアちゃん  
もういいんだ！

君を操っていたあいつは  
俺が倒したから

君はもう自由なんだ

だから正気に戻るんだ！

そうね  
絶対に逆らえないように  
さつき消した奴隷紋より  
もっと高位のやつを刻んで  
やるのがいいわね



どうしてこんな事  
するんですか!

私はあなた方の仲間にして  
もらえたのではないんですか!?

はあ? 亜人風情が  
何言ってるのよ

数日でも私達のおかげで  
贅沢な生活が出来た事への  
感謝の気持ちは無いの?

これだから亜人  
って嫌いよ私!

ねー

さっさと豚どもの  
エサにされるといいわ!

ほんとよねー

なっ...  
私をどうする  
つもりなんですか!?

だから今  
言ったでしょ

ん・た・の・H・か♥

せいぜい可愛がって  
もらいなさい♪

ヒューイツ

キラキラキラ

キラキラ



うわーなにあのチンポ何日洗ってないのよ？チンカス溜まりまくってんじゃん！

ズエツ

ズエツ

もつとノドの奥まで唾え込んで、おいしそうにしなきや喜んでもらえないでしょ

ホラ何やってんのよちやんと客のチンポしやぶってあげなきや！

ンゲオ

むぎむぎ

まほまほ

あたしマジ無理だわあんなのよく唾えられるよね

くっさそく脂ギラギラだし

ギヤハハハほんとー奴隷紋マジばねえ

あたし死ぬわあんなのー



いいや...

来ないで...

なによ！これからお世話になる客相手に挨拶もできないの？

駄がなつてない奴隷ね



うっわー臭そう

まほまほ

ウツ

ムリムリあたし、あんなチンポ絶対ムリ

ざりざり



あーダメダメえ  
ザーメンはちやんと  
飲み干さなきゃ

客の要望にはきちんと  
応えなきゃ、奴隷紋発動  
しちゃうわよ？  
痛いよ痛いわよ？

どれだけ痛いのか  
知らないけど

あーあもー  
何やってんのよ

言ったばっかじゃやない  
全部飲まなきゃって

アハハハ  
キツいって  
あんなブタ汁

かわいいそー



ほら！  
自分でこぼして  
汚したんだから  
自分でキレイに  
しなさいよー

ひきうひきう！！

キャハハハ  
舐めてる  
舐めてる

え？ おいしいの  
それ？ ねえねえ？

んなわけねーって  
ギヤハハハ！

おーおー  
シッポ抜け  
んじゃね？

いーぞいーぞ  
もつとやれ

いつたいナニをする気  
なんでしようかね？

ねー

あつや…  
ソコは…

おやく？ ブタどもが  
ヨダレ垂らしながら  
寄って来ましたね

バチバチ

おっ  
おっ

ウツソー信じらんねー  
こいつら亜人の汚ねー  
ケツ穴、舐めてやがるうー

あらー？よかつたわねー  
マンコだけじゃなくて  
アナルまでベロベロされて

えー？意外と  
やってたかもよー？

うはっ  
ウケるうー

こんなの、盾の  
奴にはされた  
事なかった  
でしょー？

おっ  
舐めてたから、まさかと  
思ってたけど、ウンコ穴に  
チンポブチ込んでるよー

うげー穴なら  
何でもいいのかよ

あんなぶつといの  
2穴同時って、  
裂けんじゃねー？

うっは！  
グロおー

あーそうそう、言っておくけどこのブタ達、  
亜人を犯すのが趣味なんじゃなくて、亜人を  
壊す事でサイコーにコーフンする連中なのよー

えー？  
やだあーこわーい☆

それ、サイアク  
じゃーん

ニンゲン終わってね？

ごく、たまーに  
やられてるうちに  
気持ちよくなつて  
くる奴もいる  
みたいだけおー

ほとんどが  
ブツ壊れて終わるから♡

まあせいせい  
頑張りなさい







うわっ 何こいつ！  
すっげー漏らして  
んじゃん

きったな

はあ？ プタ、  
チョー喜んで  
んですけどー？

ありえね

いや、もーほんと  
巫人とプタのゲテモノ同士で  
一生仲良くヤツてろよー



うふふ…  
楽しみ♡

王女、ちよつと  
よろしいですか？

えっ

イツキ様 レン様…  
何でしょうか？



なんだ!?

申し訳ございません！  
捕らえていた巫人に  
逃げられました！

ちよつと？  
何やってんのよ！

話は終わって  
ませんよ

ああ

あーもうっ！



王女は、先の尚文さんに  
行った不正について  
どうお考えですか？

今の決闘、上のバルコニー  
から見ていた

不正？ そんなもの  
ありませんでしたわ



さっきの決闘  
お前の負けだ 元康

はあ!?!  
何言っただ  
お前ら…

うわあ



…見つけました  
ナオフミ様…

ナオ…  
おい!

なんだこれは!!

俺はこの店で一番強い酒を  
注文したはずだぞ!?

何杯飲んでもちつとも  
酔わねーじゃねえか!!



本当噂通りの  
クズ勇者だな!

なっ…

オマケに味も  
しねーし…

この店はただの水に  
客からいくらふんだ  
くるつもりだ!!

なんだとお? テメエが盾だつて  
事はわかってても、金は出すつて言う  
から我慢して客扱いしてやってんの  
にイチャモンつけやがって!!





私かわからないんですか!?

盾だけじゃなくて  
亜人まで来やがったぞ

もうこの店から  
出てっくれ!

そーだそーだ!  
出てけ出てけー!!

!!



いっ...

いけません  
ナオフミ様!

なんだお前!



なんだくそっ!

女が俺に  
近づくな!

えっ?



うあっ



ナオフミ様  
とにかくここを  
出ましよう

おいっ

おい!  
誰か兵士  
呼んで来い!

オラ  
出てけ!

何すんだ  
放せ!

エアストシールド!!



放せこの...



ナオフミ様…

ラフミタリアア？

少しは落ち着きましたか？



はは…



は！！



逆らえない奴隷しか信じられませんか？



どうだ！期待通りブザマだろ？

せいせい面白おかしく伝えて来いよ！



なんでお前がここに…お前は元康の仲間に…なったんだろ!?

どうしてあんな方の仲間になんて…

ああそうか！



また俺を騙そうってわけか

そんな事…

油断させて今度は俺から何を奪おうってんだ？

私は…

それとも俺のブザマな姿を見に来たのか？新しいご主人様に報告するために

違いますっ



でしたら…

お前さん



で？



以前と同じ奴隷紋を  
施させていただき  
ましたですハイ



それが何だって  
言うんだ？

さつき簡単に  
消せたじゃないか

いつでも元康やあのクソ親子に  
頼めば、奴隷契約も一緒に消せるだろ



これでまた

私はナオフミ様の奴隷です



ええ：  
そうですね

「また信じて」？

こうすればナオフミ様に  
また信じていただける  
かも知れない！  
なんて思っていたのですが…

何言ってるんだ！  
始めから誰も  
俺の事なんて  
信じちやいな  
かったろ！？

だから俺は、もう  
誰も信じない！！

ナオフミ様！  
私はあなたを信じて…



俺は騙されないぞ！  
もうウンザリだ！  
もう戦いたくない！

ナオフミ様！

もとの世界に  
帰してくれ

ナオフミ様！！

く、来るな！  
こっちに来るな！

命令だ！！

！！



ウウー！！

はっ！馬鹿が！  
自ら入れた  
奴隷紋に苦しめ  
られてるじゃないか！

さあわかったら  
さつさと俺の  
前から消えろ！



おま...

ですが、このくらいの痛みで私が諦める事はありません!

お気に召さなければどうぞご命令を!そして私に何度でも罰をお与えください!



...くっ



今夜は宿に泊まってゆっくり...

あの...今日はいろいろあって疲れましたよね



ナオフミ様のお側にいます!

いいえ私はどこへも行きません

はあ? 何勝手に決めてんだ



ナオフミ様、親父さんに迷惑が掛ると心配して...

それとも、自分が信じている方に拒絶されるかもと恐れているとか...



盾の悪魔のこの俺を泊める宿が、今のこの国にあると思うか?

それは... あ、でしたら武器屋の親父さんなら...

駄目だ!



親父が...しよ、商売のこと意外で俺を相手にするわけないだろ!

そんな事はないと思います...

とにかく駄目だ!







本当ならもう眠って  
しまいたいはずなのに…  
嫌な事があり過ぎて  
眠れそうにない

じゃあ風呂に入るか…

でしたらお背中を  
お流します



…さつき奴隷商に  
この店を紹介されたあと…

え？

俺の聞こえない所で  
何を話していた？



命令だ  
話せ

…は

私：明日からここで  
お客の相手をする  
事になりました

お金の持ち合わせが無いので  
何かすぐに稼げる仕事はないかと  
相談したところ、こちらを紹介して  
いただき、お金も少しお貸し  
いただきました

ここは宿泊も出来ませんが、  
そういった商売をする  
場でもあるそうです

おい、  
それって…

私は奴隷商の方の見立て  
では、上玉らしいので  
きつとお客の金払いも  
いいはずだと言っていました

あ？

何言ってるんだ

上玉って、  
こんな  
子供に…

そう…でしたよね  
ナオフミ様には私がまだ  
子供に見えているのですよね

は？

ご心配いりません  
大丈夫ですよ

ナオフミ様が戦わずに済む  
ように、これからは私が  
お守りしていきますから

ぼ…



今からでも、元康や他の勇者の  
もとへ行って仲間にももらえば...  
いや、せめて俺に関わり合いに  
ならないで普通に生きていけば...

そんな生き方  
嫌です!

私はナオフミ様がいなければ  
とても生きて行けるとは思えません

なんでそうなんだ?  
変だぞお前!

これから先もナオフミ様の  
お側にいさせて欲しいんです!

おかしいだろ!  
散々奴隷として酷使して  
来た俺の側につて…

ナオフミ様は私に  
酷い事など何も  
してきませんでした

あなたが優しい方  
だというのが私には  
よく知っています!

現に今だって、  
こうして私の身を  
案じてくださって…

そんな優しいあなた  
だからこそ私は…

俺が…

優しいだと?

大方、飯や薬を与えられた事で  
そう思ってるのかも知れないが  
あんなもんはお前を奴隷として  
効率よく使う為にしてきただけだ

そんな…違いますっ  
ナオフミ様は…

もういっ…

馬鹿が…お前何か  
勘違いしてんだろ?

え?



これをしゃぶれ

え…

!!



わかった…

お前が信じる勇者様の  
本当の姿を見せてやるよ



お前が客とするのは  
こういう事だ

ホラやってみろよ







そうじゃない!  
奥まで啜えるんだよ!!

ガッ

うん...  
うん...

ん...

びびり  
びびり

びびり

びびり

うん...  
うん...

うん...

びびり

びびり  
びびり



…見てみるよ  
ラフタリア

勃ってないだろ？

ゴホッ  
ヒョホッ

は…

やっぱりだ…  
ガキのお前で反応する  
とは思わなかったが、  
問題はそれ以前だ

普通こういう時に  
男のコレはでかくなって  
硬くなって、勃つんだぜ？

この世界に来て早々  
女王の件があつてから  
これさ

ナオフミ様…



勇者としても、ただの男  
としてすらも俺は何の  
役にも立たないんだぜ

哀れだろ？  
笑えよ



ああ そうだな  
そうすれば客は  
喜ぶだろうよ

だが…

！











何なんだこの違和感は？

いったいどうなってんだ？

肌もこんなに健康的じゃなかったはずだし…

髪もバサついてるかと思っただけ、妙に触り心地が…



このままずっと…

あ

あ



でも…  
変な感じだが…  
嫌な感覚ではない…

いや、むしろ…

は…  
ああ…

あ…





お前を汚してしまう!!

ナオフミ様

そ、それは...いや、駄目だこれ以上は...



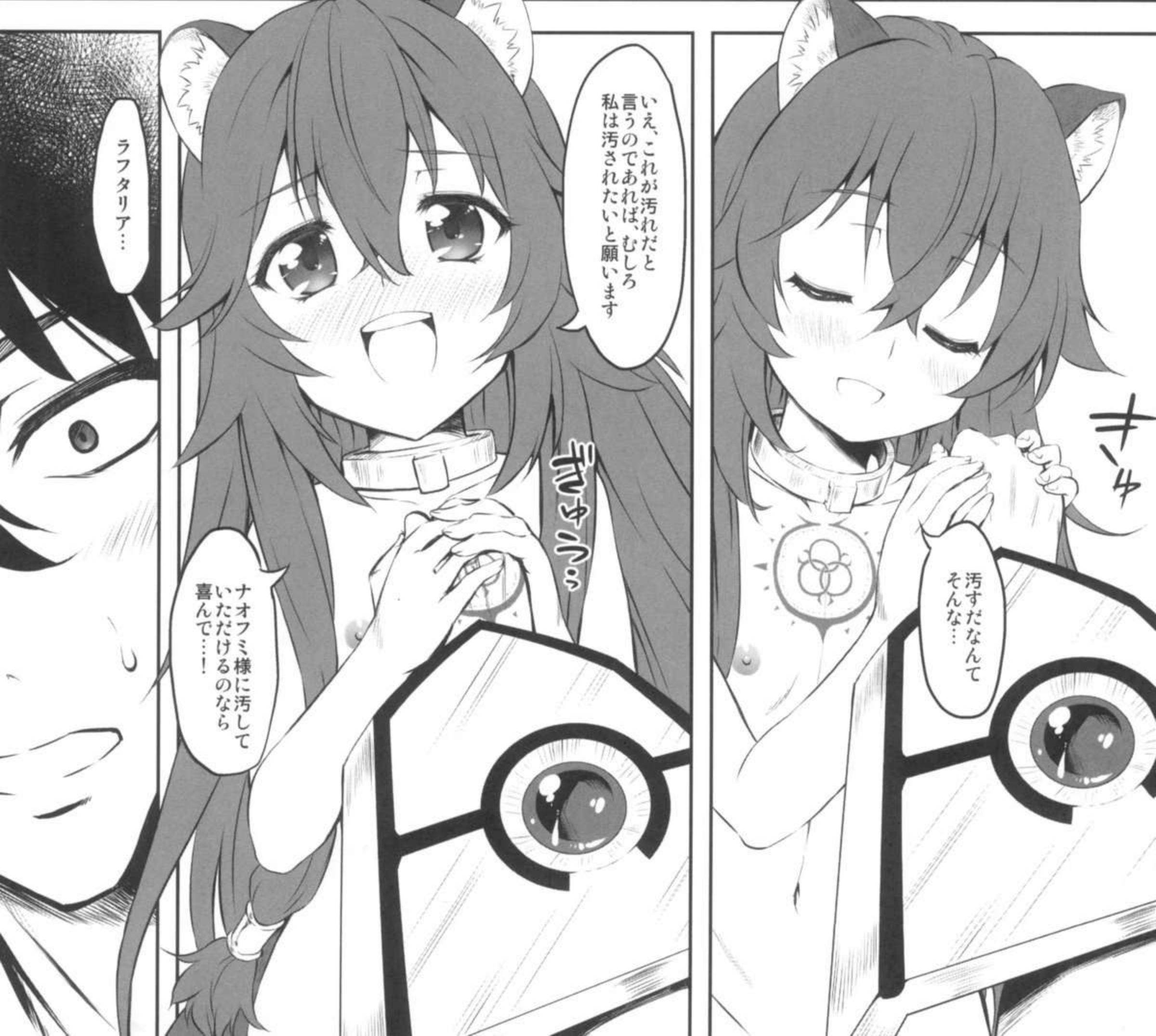
次...

このまま続けてよろしいんですよね??

お勤ちしましたし次の段階へ...

どうって、何が!?

じや、じやあま、どうして、ナオフミ様??



ラフタリア...



ナオフミ様に汚していただけるのなら喜んで...!!

びん

いえ、これが汚れたと言うのであれば、むしろ私は汚されたいと願います



汚すだなんてそんな...

ナ



あ、はっ  
うハッ...

大丈夫か？ラフタリア  
痛かったり、苦しくはないか？

ナ、ナオフ...ミさま  
はいり...ました  
あ、ああ...

入った...!  
こんな小さな...  
ラフタリアの中に

でも…  
それ以上に

私、嬉しくて…

え

こうしてナオフミ様と  
繋がれて…今とても  
幸せを感じています

幸せ…？

はっっ

ドクン…

ドクン…

ラフタリア…

幸せ…  
この世界に来てから  
そんなものを感じた事  
なかったし…

ましてや誰かを  
幸せに出来るなんて…





ビクッ



ドキッ

はいー

このまま…動くぞ？



!



あゝ

ザッ



痛かったら  
言ってくれ  
すぐに止め…

ち、違うんです  
続けてくださいっ



その、ナオフミ様に  
ギョツてされるのが  
すごくよくて…



そ…  
そうなのか



ザッ  
ザッ  
ザッ  
ザッ



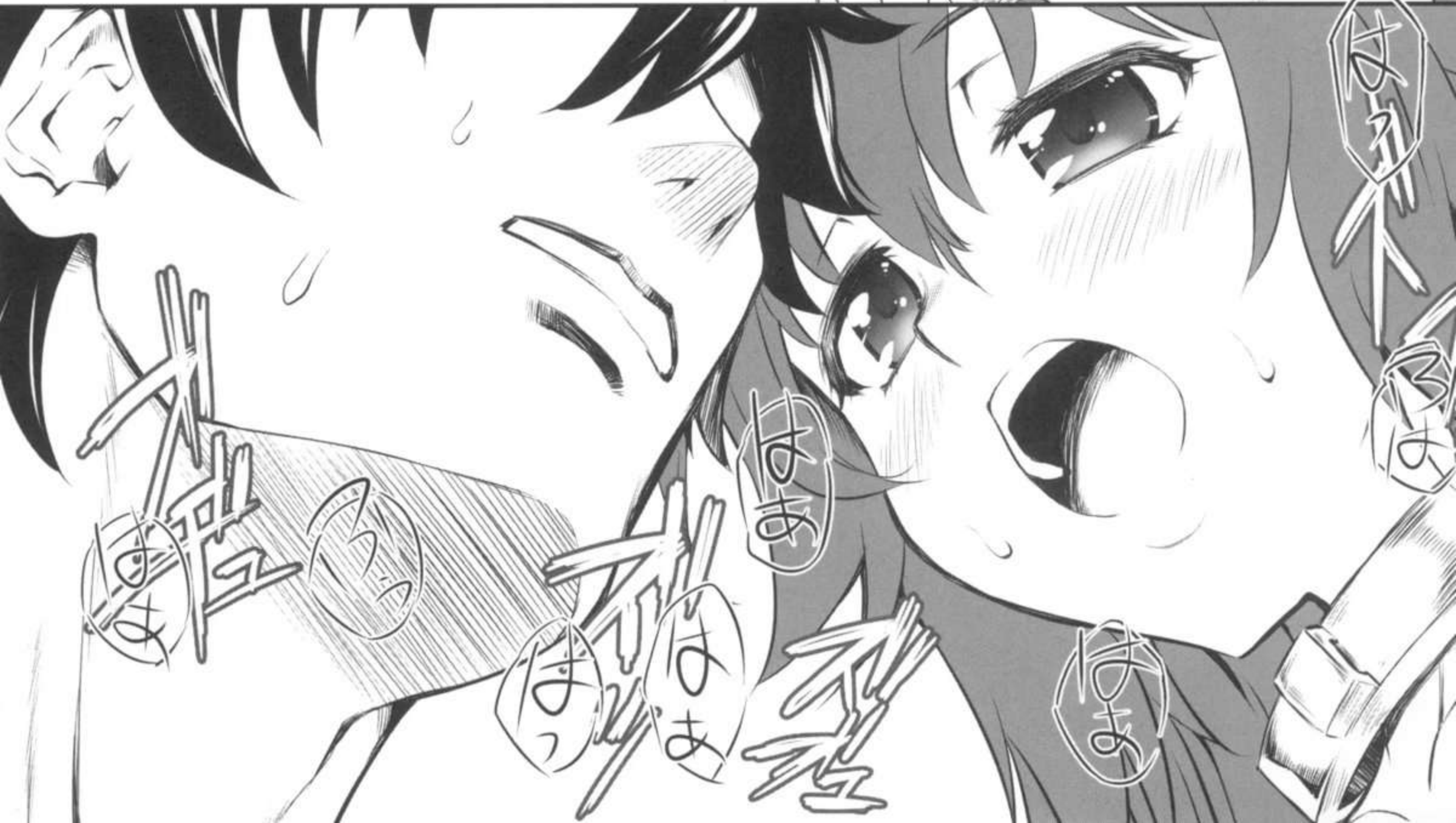
わかった

できれば、  
もっと...

あじ...

もっとキュッッー  
って、っ  
欲しいです!!

アッ



あじ...

あじ...

あじ...

あじ...

あじ...

あじ...

あじ...

本当に温かいな  
ラフタリアは…



嬉しい…  
ナオフミ様も私と  
同じようになって  
くれている…

触れたところ  
全てが温かくなる



誰かに触れられて  
こんなに気持ちよく  
なった事なんてない

まるで心の中まで優しく  
触れられているような…



体だけじゃない…  
心の中まで全部が  
温かい…  
全部が気持ちいい

心が満たされていく…  
だけでもっと…俺は  
ラフタリアとずっと…



これからもナオフミ様と  
一緒に…そして、もっと  
ナオフミ様を私の全てで…





ああ…そうか  
俺は裏切られたと勝手に思い込んで  
ラフタリアに見向きもせず  
ラフタリアの優しさに全く気づいて  
なかったんだな

俺の言葉に耳を貸さなかった  
奴らと同じ事を、俺は  
ラフタリアにしていたのか…  
あんなにも信じてくれた  
ラフタリアを俺は…

ちゃんと謝らなきゃな…



ラフ…タリア

ごめん…

えっ？

ラフタリア…

…フミ様

ナオフミ様



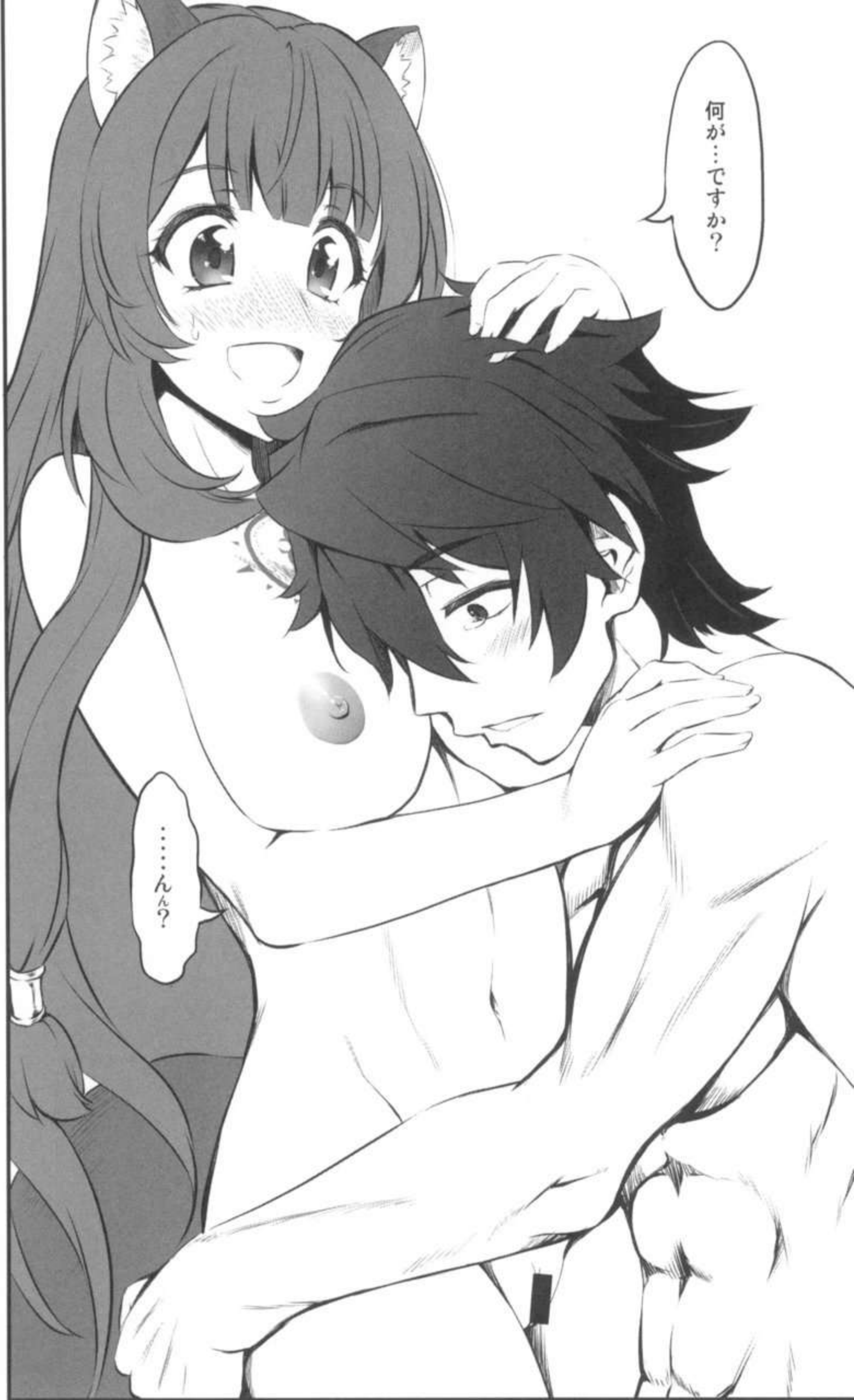


え！



わあっ!?!  
な、なんだ?  
誰!?

ええっ!?



何が…ですか?

……んん?



待てよ? まさか俺…  
何年もずっと  
眠っていたのか!?

そんなに寝てませんよ!

そんな急に成長するなんて事…

…いや、声も似てるし  
確かに顔立ちもそんな…



何を言っているんですか  
私ですよ

ラフタリアアです

いやいやいや、  
ラフタリアアは幼い子供…

じゃあいったい…

ナオフミ様この際  
だから言いますね

何？

亜人は…

本当に…  
ラフタリアなんだな？

はいよかったです  
ナオフミ様にようやく  
認識してもらえて

えっと…で…その、  
どうでしょうか？

ん？



わっ…

私は…

上玉…でしょうか？







しかし、処女のままだったら…

…金貨三十五枚  
くらいイケたか?

ちよっ!?

ええっ? ナオフミ様?  
奴隷商での交渉  
聞いてたんですか?

何の話だ?



も、もう!  
なんですかそれ!?

あの奴隷商なら、それくらい  
積ませる買い手をもつけて  
来そうだ

それ、私を売却する事  
前提じゃないですか!

それくらいの値打ちが  
今ならあるんじゃないか  
って事なんだが

あ、ありがとうございます  
ございますっ!  
すこくフクザツですけど!



ほ、本当に聞いて  
なかったんですか!?

ああ

というかあの時  
何があったのかも  
よく覚えてない

査定額があの人が言ったのと  
ピタリ過ぎて、私ゾクゾク  
するんですけど!!

そうか…



勇者が、自分を信じて  
くれる人のヒモになる  
わけにはいかないだろ

ナオフミ様…



気が変わった

もうしばらくは  
勇者としてこの世界で  
戦ってやろうと思う



…そうだな  
奴隷商には謝りに  
行かなきゃな

え?  
ナオフミ様?

紹介されたという  
仕事の話は断るぞ

で、ですが…





え、あ…

えっと…

ラフタリアが  
そうしたいのなら  
そう…するか？



！

おは

はいっ♡



おんがへんてまじ…  
おんがへんてまじ…  
おんがへんてまじ…

おんがへんてまじ…  
おんがへんてまじ…

お金の事でしたら…  
前払いのこの宿泊費も  
それなりにしましたし  
借金してますけどね…

JC期。二の頃のラッタリも良いよね。





